

総務産業建設常任委員会会議次第

令和元年 9 月 9 日 午前 9 時 30 分～
松川町役場 協議会室
委員会条例による傍聴人の退場 有 無
委員会条例による秘密会議での開催で 有 無

1. 開 会

2. あいさつ

3. 協議事項

(1) 令和元年第 3 回定例会付託案件の審査について

① 令和元年度松川町一般会計補正予算(第 2 回)について 議案書

② 令和元年度松川町保養宿泊施設事業特別会計補正予算(第 1 回)について //

③ 令和元年度松川町発電事業特別会計補正予算(第 1 回)について //

④ 令和元年度松川町下水道事業会計補正予算(第 1 回)について //

(2) 農業集落排水と公共下水道の処理区統合事業について

[環境水道課] 資料No.1

(3) 新井公衆トイレの改修計画について

[産業観光課] 資料No.2

(4) 「旧松川青年の家」後利用に関する方針の見直しについて

[産業観光課・生涯学習課・まちづくり政策課] 資料別紙

4. 報告事項

(1) 八十二銀行駐車場敷地内の防火水槽撤去について [総務課] 資料No.4

(2) ツリードームの運営状況について [産業観光課] 資料No.5

(3) 「かぶちゃんファーム」解約農地の対応状況について [産業観光課] 資料No.6

(4) くだものの里まつかわ発電所建設工事について [環境水道課] 資料No.7

(5) 防災重点ため池の指定について [建設課] 資料No.8

5 その他

6. 現場調査

(予定箇所)

役場発 → 旧松川青年の家 → 町道 59 号線(交差点改良) → 役場着

※閉会后、議員のみ協議

令和元年9月9日
環境水道課下水道係

農業集落排水と公共下水道の処理区統合事業について

1. 事業目的

町全体の汚水処理に要する総合的なコスト縮減

2. 事業概要

松川町の下水道事業は用途地域を中心とした203haを公共下水道(1処理区)、その周辺の農業振興地域238haを農業集落排水(5処理区)にて整備し、生活排水の集合処理を行っています。

人口減少などの社会情勢の変化や節水型機器の普及により、今後の使用料収入の減少が見込まれるなか、経費を抑制しつつ下水処理施設の機能を維持するとともに、老朽化や耐震化などにも対応するため、効率的な維持管理や施設更新等が求められています。

平成22年に長野県より「農業集落排水施設統合マニュアル」が公表され、効率的な施設整備手法のひとつとして処理施設の統合が提示され、当町においても平成23年度に下水道全体計画の見直しを行い、農業集落排水4処理区を将来的に公共下水道へ統合する方針を示しています。

今回、全体計画において公共下水道へ統合する方針が示された農業集落排水4処理区について、接続工事の実施に向けて、統合を実施する時期や順序の決定、国・県との協議手続き等具体的に計画を進めます。

3. 経過

平成22年度 長野県より「農業集落排水施設統合マニュアル」が公表される

平成23年度 松川町全体計画見直し

将来的な人口減少を見込み、処理施設の更新費用と、統合に係る接続管渠工事費用等の経済比較を行った結果、以下のとおり農業集落排水4処理区を公共下水道へ統合する方向性を示す

処理区	共用開始年度	経過年数	統合の経済性比較		統合の方向性
上片桐下	平成8年度	23	○	接続有利	公共下水道へ接続
大島	平成12年度	19	○	接続有利	公共下水道へ接続
名子南	平成12年度	19	○	接続有利	公共下水道へ接続
福与	平成13年度	18	×	接続不利	単独で処理を継続
上片桐上	平成16年度	15	○	接続有利	公共下水道へ接続

4. 事業スケジュール

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ○全体計画見直し <ul style="list-style-type: none"> ・人口予測と流入汚水量の再計算(下方修正) ・処理区統合の順序と時期を計画へ位置付ける(大島、名子南) ・上片桐上、下処理区の統合について、検討(片桐松川横断が可能か) ・上片桐上、下の方向性によっては浄化センター増設を再検討
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ○下水道法事業認可 <ul style="list-style-type: none"> ・統合する処理区を下水道事業区域として下水道法の認可を取得 ○都市計画決定、都市計画法事業認可 <ul style="list-style-type: none"> ・統合する処理区を都市計画区域内の下水道区域へ位置付ける ・都市計画審議会の開催 ・統合する処理区を下水道事業区域として都市計画法の認可を取得 ○農集施設財産処分報告 <ul style="list-style-type: none"> ・農水省へ統合により廃止となる処理場の財産処分報告 ・場合によっては補助金返還、繰上償還が必要となる
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ○接続管渠の実施設計 <ul style="list-style-type: none"> ・接続管渠、マンホールポンプ、ポンプ場等の実施設計
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ○接続管渠工事 <ul style="list-style-type: none"> ・接続管渠、マンホールポンプ、ポンプ場の工事(統合する処理区によっては2か年で実施)

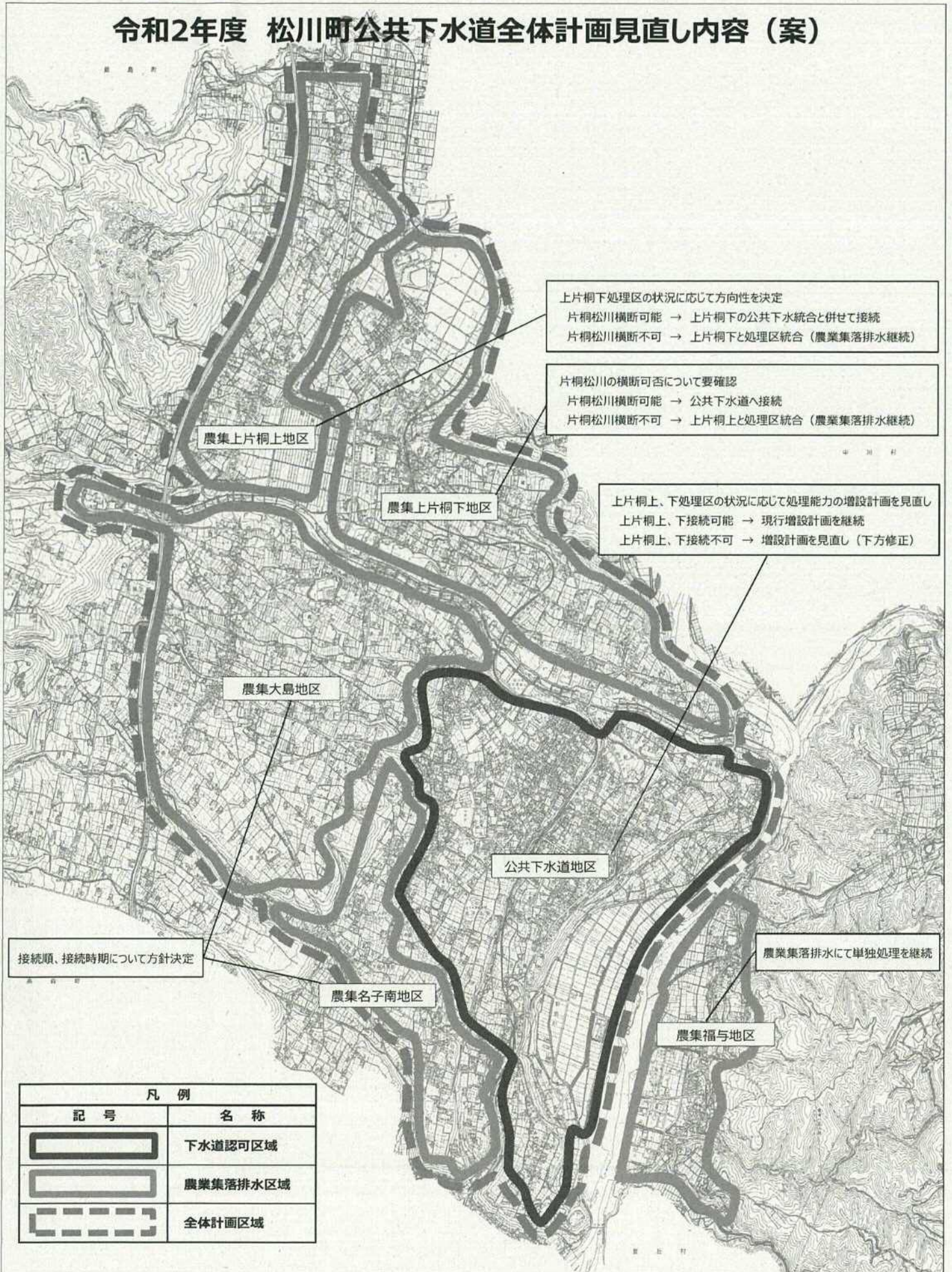
(参考) 大島処理区を統合する場合のスケジュールと概算費用

年度	実施事業	概算事業費	区分	備考
令和2年度	全体計画見直し	6,800 千円	補助	処理区接続順の決定等
令和3年度	下水道法事業認可	13,400 千円	単独	公共下水側手続き
	都市計画決定 都市計画法事業認可			
	農集施設財産処分報告	3,000 千円	単独	農集排側手続き
令和4年度	接続管渠実施設計	11,000 千円	補助	接続管渠設計委託
令和5年度	接続管渠・ポンプ場工事(1/2)	69,000 千円	補助	接続管、圧送管、ポンプ場等工事
令和6年度	接続管渠・ポンプ場工事(2/2)	69,000 千円	補助	
	概算事業費計	172,200 千円		

5. 受益者負担金と下水道使用料

現在、公共下水道と農業集落排水区域で受益者負担金、下水道使用料体系ともに同じ運用をしており、統合後も変更はありません。

令和2年度 松川町公共下水道全体計画見直し内容（案）



上片桐下処理区の状況に応じて方向性を決定
 片桐松川横断可能 → 上片桐下の公共下水道統合と併せて接続
 片桐松川横断不可 → 上片桐下と処理区統合（農業集落排水継続）

片桐松川の横断可否について要確認
 片桐松川横断可能 → 公共下水道へ接続
 片桐松川横断不可 → 上片桐上と処理区統合（農業集落排水継続）

上片桐上、下処理区の状況に応じて処理能力の増設計画を見直し
 上片桐上、下接続可能 → 現行増設計画を継続
 上片桐上、下接続不可 → 増設計画を見直し（下方修正）

接続順、接続時期について方針決定

農業集落排水にて単独処理を継続

凡例	
記号	名称
	下水道認可区域
	農業集落排水区域
	全体計画区域

新井公衆トイレ改修について

産業観光課

新井公衆トイレについては、町内でも利用頻度が高い公衆トイレであり、定期的な維持管理は行っているものの、現状としては軽微な破損や経年の汚れなどが目立つ状況にある。また、町内のトイレの洋式化も検討を進めていく必要があることから、今回、改修計画を検討する。

また、今後については、他の町内公衆トイレについても必要に応じて検討を進める。

【主な内容】

建築年度	平成10年度（地域福祉推進特別対策事業）
改修内容	現在の建物を利用する。便器（洋式化含む）、センサー、天井や壁タイルなどの改修（悪臭の除去）など。
事業費	補助事業にて財源確保することを検討していく。
実施予定年度	令和2年度



八十二銀行駐車場敷地内の防火水槽撤去について

1 概要

八十二銀行松川支店の建て替えに伴い、駐車場敷地内に設置されている次の防火水槽を撤去。

貯水名称	上新井中部防火貯水槽
竣工	昭和50年5月
管理自治会	広小路自治会、宮坂自治会、本町自治会、中央一自治会
貯水量	51 m ³ (4.8×5.1×2.1)

2 防火水槽撤去のスケジュールについて

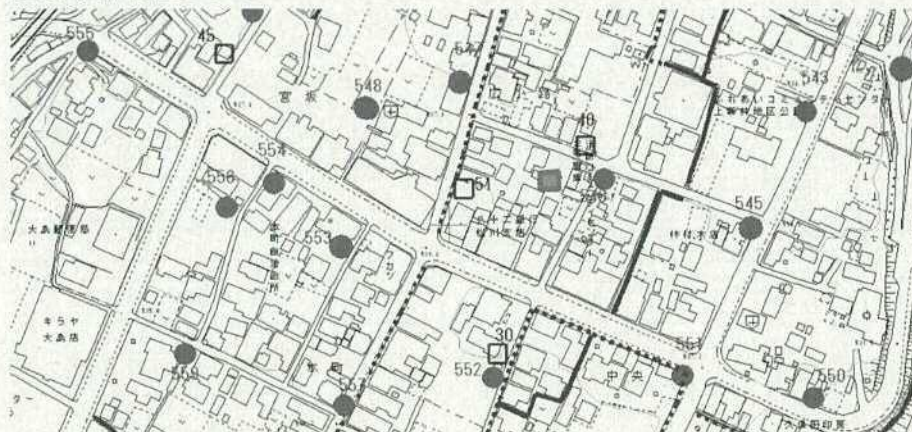
令和元年9月～	解体工事	防火水槽撤去	※以降、使用できません。
11月～	新築本体工事		
令和2年8月頃～	現店舗解体		～10月完成予定

3 負担金について

八十二銀行の新社屋建設工事の中で防火水槽を撤去し、撤去に要した費用については、負担金として、町が八十二銀行へ支払。

負担金見積額 1,111,000円(税込)

4 近隣の水利について



5 今後の対応について

防火水槽管理自治会（本町自治会、中央一自治会、滝の沢自治会、宮坂自治会）より、令和2年度消防施設整備事業での防火水槽の設置要望を受領。

八十二銀行に依頼し、設置方法について、検討を行う。

状況写真①



状況写真②



ツリードームの運営状況について

2019年9月4日

松川町産業観光課

(一社) 南信州まつかわ観光まちづくりセンター

1. ツリードーム南信州まつかわの運営状況

(1) 営業期間

2019年4月28日(日)～10月27日(日)の間の【金、土、日、祝】

・4/27～5/6及び7/19～9/1の間は【火、水】を除く平日も営業

(2) 運営状況 (9/4日現在)

① 営業日数

81日(予定含)

・2019年度は、青年の家町民利用(既存利用及び町民体育館工事に伴う代替利用)との調整を行ったため、営業日数を当初予定より縮小し、営業することとなりました。

② 客室稼働率

全期計 46.5% (下記目標に対する達成率 141%)

・第1期シーズン目標 33.0%

(月別/4,5月:37.3%、6月:30.3%、7月:56.4%、8月:88.9%、9月:52.4%、
10月:11.9%)

③ 売上

全期計 宿泊料 5,000千円[見込] (下記目標に対する達成率 128%)

・第1期シーズン目標 宿泊料 3,828千円

・別途食事物販等1,000千円[見込]

※宿泊料換算では、清流苑宿泊料収入の約3%にあたる経済効果額を達成。

※2019年シーズン終了後において、ツリードーム長期収支計画を改めて精査し策定する予定としています。(尚、2018年テスト運用終了後の概試算では、営業期間、営業日数、客室稼働率のアップにより、収支バランスの均衡を概ね4期目に達成することを目標として試算しています。)

(3) 着地型観光としての効果測定

① 来訪者の居住地

①愛知県45% ②長野県20% ③岐阜県13% ④東京都8% ⑤静岡県4%

⑥千葉県3% ⑦外国人3% ⑧京都府、大阪府、兵庫県、神奈川県、山梨県1%

・回答者のうち、86%の方が、松川町に「初めて訪れた」と回答、「松川町の自然」を活用した宿泊プログラムが、旅の目的地となっていることが確認されました。

② 来訪者の世代（予約者の年齢）

①40代:40% ②30代:29% ③20代:14% ④50代11% ⑤60代:6%

・20～40代で83%を占め、新たな来訪者（宿泊者）のターゲットとしていたファミリー、若者世代の方々を中心に来訪いただいています。

・また、利用者のほとんどが、アウトドア初心者となっており、上質な時間を提供するというコンセプトに共感した方々に来訪していただいています。

③ 来訪のきっかけ

①雑誌新聞（記事・広告）:50% ②SNS, インターネット:30%

③TV, ラジオ等メディア:11% ④知人からの紹介その他:9%

・4-7月の予約までは、雑誌新聞等の記事広告が多かったのですが、8月以降は、SNSやメディアが多くなっています。

④ 松川町での体験プログラムの予約率

・予約に際しては、宿泊予約だけでなく、着地型観光として松川町での過ごし方を提案しています。

・ツリードームの予約のうち、ワンストップで手配した体験プログラムの予約率は、宿泊者全体の34%となっています。（宿泊者の3組に1組の方が、松川町の滞在交流プログラムを体験していただいています。）

（体験プログラムの内容）

- ・フォレストアドベンチャー松川
- ・収穫体験プログラム（くだもの狩り、野菜収穫）
- ・星空観察プログラム
- ・およりの森散歩プログラム
- ・ソーセージ、ガレット、ジャムづくりプログラム ほか

⑤ 宿泊者（来訪者）の満足度

・回答のうち「大変満足」の割合が、8割以上となっており、価格帯[素泊まり料金]（1室平均51,700円/1人平均14,800円）に相当するサービス（満足度）が提供できていることが確認されています。

・アンケート調査により、良かった点、改善点等を分析し、今後の施設運営及び青年の家あと利用の検討に活用していく予定としています。

「かぶちゃんファーム」解約農地の対応状況について

【農地中間管理事業】

令和元年8月末現在

区分	地権者数	筆数	面積 m ²	比率 %	備考(町外の貸付先)	
解約農地合計	16	73	51,451	100.0		
貸付先が決まっているもの	12	62	37,194	72.3		
内 訳	A法人	4	24	17,656		飯田市松尾
	B法人	1	7	2,458		
	C氏	3	20	11,453		喬木村
	D氏	1	5	1,502		
	E氏	1	1	416		
	F氏	1	1	397		
	G氏	1	4	3,312		飯田市川路
自己保全管理	2	2	2,335	4.5		
貸付先が未定なもの	6	9	11,922	23.2		

(注) 地権者数は、重複部分があるため合計に一致しない。

【相対契約】

区分	地権者数	筆数	面積 m ²	比率 %	備考(町外の貸付先)	
解約農地合計	42	96	96,568	100.0		
貸付先が決まっているもの	24	43	55,636	57.6		
内 訳	A法人	14	25	37,039		飯田市松尾
	B法人	1	1	2,486		
	H法人	1	2	2,548		
	C氏	1	2	952		喬木村
	G氏	1	2	1,332		飯田市川路
	I氏	1	3	3,745		
	J氏	1	2	1,961		
	K氏	1	1	2,226		高森町山吹
	L氏	1	1	1,353		
	M氏	1	1	1,087		
	N氏	1	3	907		
	倒産以前に合意解約済	5	12	7,302	7.6	
自己保全管理等	13	17	15,062	15.6		
貸付先が未定なもの	12	24	18,568	19.2		

(注) 地権者数は、重複部分があるため合計に一致しない。

【今後の対応等】

- ① 中間管理事業及び相対契約の解約農地面積148,019m²のうち、貸付先が未定なものは30,490m²(20.5%)である。
- ② 中間管理事業で貸付先が未定な農地については、県農業開発公社が行う「農地管理事業」により年間3回程度の草刈管理を行っている。
- ③ 相対及び中間管理事業で貸付先が見つからない農地については、引き続き農地情報の提供や担い手農家へのあっせんを行う。

1 これまでの経過

- ・ H27. 6 建設部から企業局に県管理ダムへの開発検討の要請
- ・ H27. 12 地元関係者を含めた研究会を設置
～H29. 2 研究会において発電所建設を了承
- ・ H30. 3 発電所建設工事契約

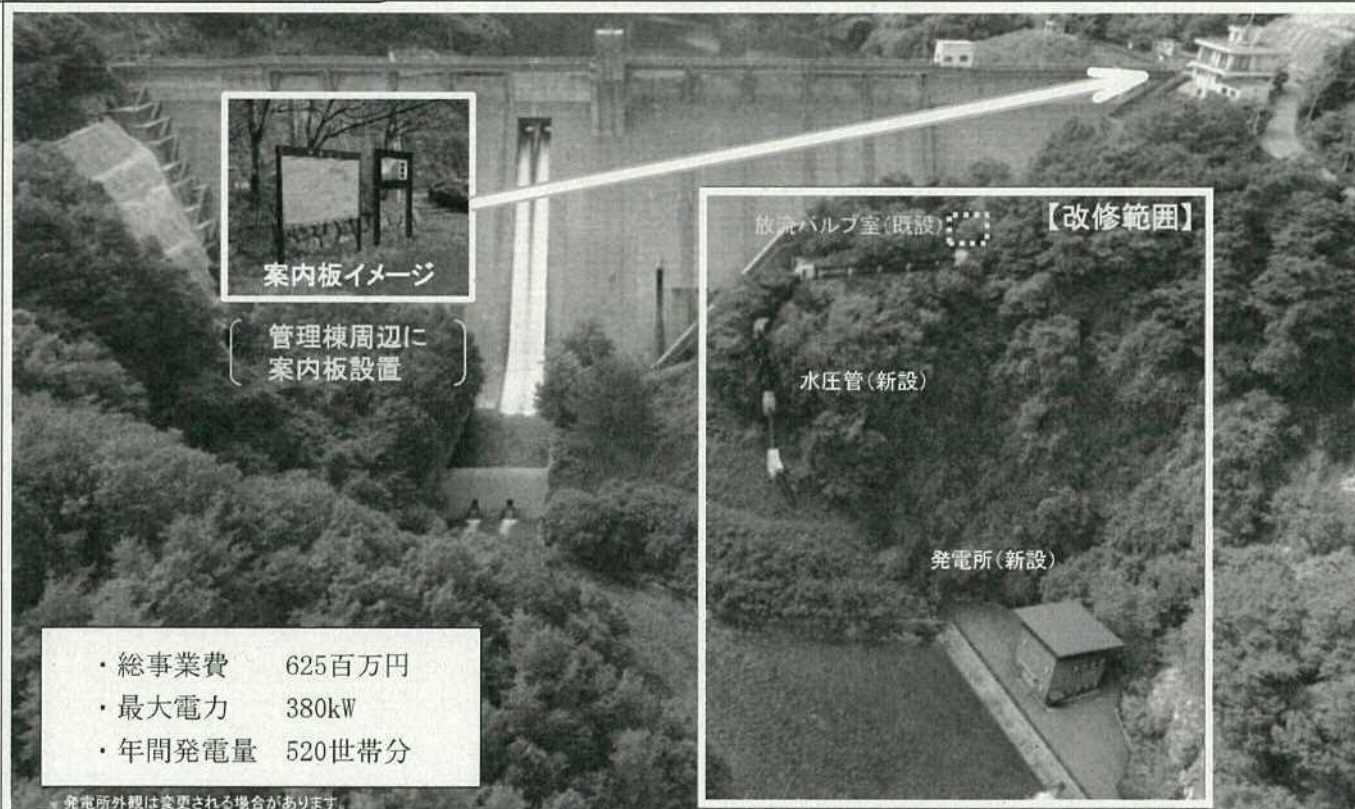
H29年度～ 発電所の工事・設計に着手
【運転開始】 H32年度予定

2 発電所名称の決定

発電所名称：くだものの里まつかわ発電所

発電所が末永く地域に親しまれ、地域の振興に寄与できる発電所名称とするため、地元の松川町の小中学生から名称を公募し、松川町・地元区・ダム管理者（県建設事務所）および企業局で構成する選考委員会で決定。

3 発電所 完成イメージ



- ・ 総事業費 625百万円
- ・ 最大電力 380kW
- ・ 年間発電量 520世帯分

発電所外観は変更される場合があります。

○ 発電所の特徴

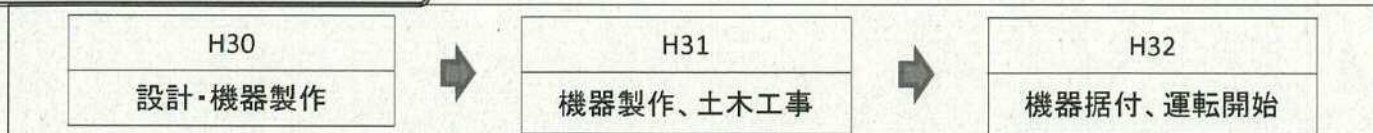
【自然景観との調和】

- ・ 木材チップを混合した外壁により、周囲の自然環境に調和
- ・ ダム管理棟周辺に、発電所内部の状況や発電量が表示できる見学者用案内板を設置
- ・ 観光シーズンの工事制約（土日休工）による近隣住民及び観光客への配慮

【環境配慮】

- ・ 発電所運転に使用する油を無くし、漏油等による環境汚染を防止
- ・ 分水管施工時に水道水源の断水が無いよう施工

4 スケジュール



【背景】

昨年発生した西日本豪雨の際に農業用ため池が決壊等により甚大な被害が発生したことを踏まえ、急きょ全国市町村による農業用ため池の一斉点検を実施し、危険であることが認められたため池は「防災重点重点ため池」へ指定することとされました。

※ 防災重点ため池とは、農業に利用するため池で、決壊した場合の浸水区域内に家屋、公共施設等が存在して人的に被害を与えるおそれのあるため池。防災重点ため池のうち、市町村以外（民間）が所有管理するため池については「特定農業用ため池」といいます。

【当町のため池の状況について】

当町には、農業用として利用しているため池が12箇所あり、すでに池の平堤が防災重点ため池として指定されハザードマップ（別紙参照）を作成しホームページにて公表していますが、今回の見直しにより各堤の下流域の地域形状、堤体の状況等の一斉点検を実施したうえで、新たに部奈区の4つの池を防災重点ため池とすることとしました。（位置図参照）

【今後の対応について】

国のため池管理保全に関する法律の整備（令和元年7月1日施行）に伴い、所有者・管理者が届出を行い責務を明確にして適正な管理を徹底すること、また県がため池データベースを整理して公表することとなります。町では避難対策の取組などが求められることからハザードマップを作成し、町全体のハザードマップと整合を図り関係住民の方に周知する必要があります。またため池のハード的補修について国庫補助事業の活用、県営・団体営補助事業を活用して進める必要があります。

部奈区つつみ位置図



池の平堤(ため池) ハザードマップ



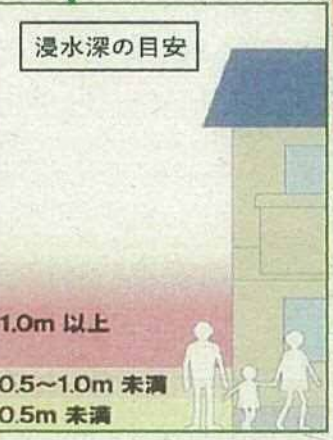
貯水量 53,000m³

凡例	
①	避難施設
①	防災関係機関
①	町内の医療機関機関
	高速道路
	県道・主要地方道
	町道
	河川
	ため池
	土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)
	土砂災害警戒区域(土石流)
最大水深	
	浸水深0.2~0.5m未満の区域
	浸水深0.5~1.0m未満の区域
	浸水深1.0~2.0m未満の区域
	浸水深2.0~5.0m未満の区域
	浸水深5.0m以上の区域
	洪水到達時間

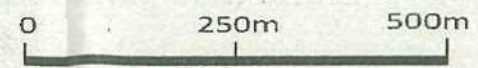
避難施設			
番号	名称	所在地	電話番号(0265)
①	上大島公民館	大島2194-2	050-7770-3913
②	大島保育園	大島1722	36-4592
③	清流苑	大島2784-1	36-2000

町内の医療機関			
番号	名称	所在地	電話番号(0265)
	下伊那赤十字病院	元大島3159-1	36-2255
	上片桐診療所	上片桐2849-3	37-2010
	中塚内科循環器科	元大島3775-3	34-1188

防災関係機関			
番号	名称	所在地	電話番号(0265)
	松川町役場	元大島3823	36-3111
	松川町役場上片桐支所	上片桐2250	37-2001
	松川町役場上生田支所	生田5958	36-2301
	高森消防署	高森町山吹5920-1	36-0119
	松川町交番	元大島1801-1	36-2051
	国土交通省天電川上流河川事務所	元大島1801-1	0265-81-6411
	天電川ダム統合管理事務所	中川村大草6844-19	0265-88-3729
	NTT(電話の故障)		局番なし113
	中部電力飯飯田営業所	飯田市吾妻町100	0120-984-550



●この地図に掲載されている「浸水想定区域」は、農研機構共同開発「SIPOND」により国土地理院の標高データを基に解析したものを示しています。
あくまで想定の一例であり、想定とは異なる浸水の可能性もあります。
●この地図は、松川町町長の承認を得て、国土交通省公共測量作業規程に基づいて作成されたデータを複製したものである。



上大島公民館は過去に浸水被害あり

道路が冠水するための危険

道路が冠水するための危険

中央自動車道 松川インターチェンジ

大島上部 自治会集会所

大島保育園

JAみなみ信州 松川インター 果実選果場

上大島公民館

東浦交差点

見晴山公園

5分後

10分後

15分後

20分後

5分後

10分後

20分後

30分後

30分後

20分後